

Ⅲ 英語教育について

- 1 教育課程特例校について
- 2 鹿屋市における英語教育
- 3 鹿児島学習定着度調査、英検等からみる実態
- 4 今後に向けて

1 教育課程特例校について

教育課程特例校とは

学習指導要領等の教育課程の基準によらない特別の教育課程の編成・実施を可能とする学校

【平成29年4月現在】

教育課程特例校の認定校総数	3,182校
内、英語教育に関する取組	2,392校

鹿屋市における教育育課程特例校について

- 構造改革「特区」認定(平成17～19年度)
- 教育課程特例校(文部科学省)(平成20年度～)

国際人として活躍する人材育成

「かのや英語大好き事業」(平成17年度～)

- ・ 小学校1年生から「外国語活動」実施
- ・ 中学校校区ごとに4英語圏をつくり共同研究

《英語指導講師》

主に小学校英語教育の支援・T-T指導
研修会等の講師
教材・教具の開発

本市の単独予算で5名雇用

小中高等学校の教員免許を所持
英語運用能力(英検準1級以上)

教育課程特例について 「かのや英語大好き」事業（時数等）

平成29年度 小学校における外国語活動の時数の特例

	鹿屋市(研究指定)	全国
1・2年	10(20)	
3・4年	20(35)	
5・6年	35(70)	35

2 鹿屋市における英語教育（英語力向上プロジェクト）

(1) かのや英語大好き事業

(2) 中学生 英語暗唱・弁論大会

(3) イングリッシュ キャンプ

(4) 文科省指定を活用した研究推進

(5) 英語教育フォーラム

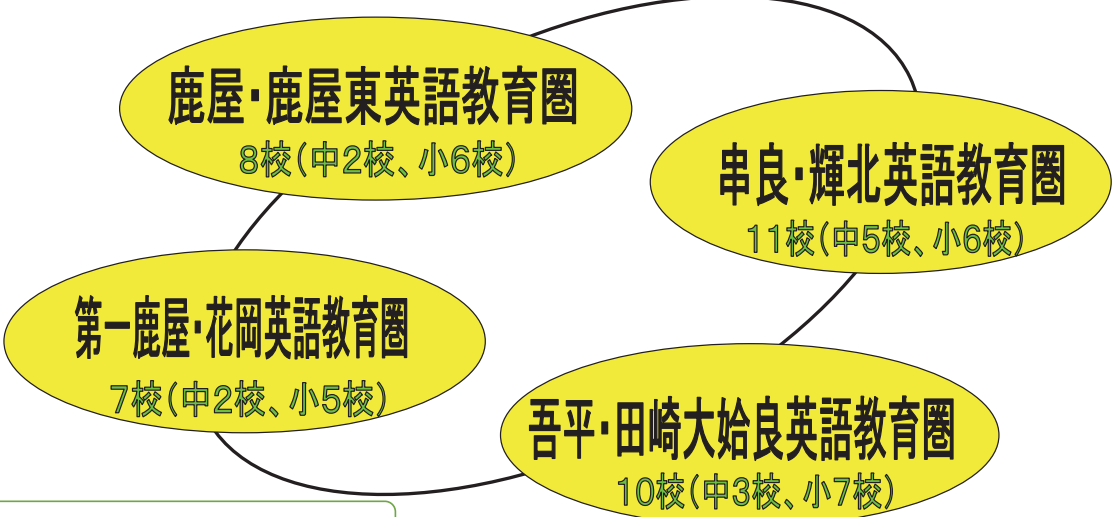
(6) イングリッシュ チャレンジ



(1) 「かのや英語大好き」事業

① 英語教育圏による共同研究

- ・小・中連携（共同研究・共同実践）
- ・小・小連携（共通実践・共同開発）



各英語教育圏に英語指導講師を配置

(1) 「かのや英語大好き」事業（英語教育圏）

② 英語教育圏連絡会 ～小中学校教員合同研修会～

（年間2～3回）



授業を通じた研究



小・中共同研修

(1) 「かのや英語大好き」事業（英語教育圏）

③ 定期的な授業公開

～英語教育圏研究推進校による～

各英語教育圏の研究推進校が
3年に一度授業公開を実施



授業研究を通じた小小連携・小中連携

【授業公開】

平成26年度：西原台小学校

平成27年度：下名小学校、細山田小学校

平成29年度：野里小学校

(1) 「かのや英語大好き」事業（日頃の授業風景）

④ 年間を通した各学校での外国語活動(1年～6年)



担任単独



担任&ALT



担任&JTE



担任&ALT

(2) 中学生 英語暗唱・弁論大会

～鹿屋市中学校英語部会との協同開催～

スキット・暗唱・弁論の三部門を実施

○スキット（1年生）

○暗唱・弁論（2・3年生）

暗唱・弁論の優勝者は、海外研修
（米国ホームステイ）



(3) イングリッシュキャンプ

生活体験を通じた英会話コミュニケーション能力の育成



(4) 文科省指定を活用した2つの研究推進

① 「英語教育強化地域拠点事業」 H27～29

・研究指定校5校

鹿屋女子高等学校 鹿屋中学校
鹿屋小学校 祓川小学校 東原小学校

・研究内容

(小中高等学校の連携による英語教育の高度化)

- ・教育課程の編成
- ・文科省作成教材の検証 等



中学生グループによる、原稿作成



小学校教科「英語」の教材
「Hi friends plus」



- 小学校教科「英語」
 - ・アルファベット文字の認識、
 - ・日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気付き
 - ・語順の違いなど文構造への気付き等、に関する指導を補助。

(4) 文科省指定を活用した研究推進

② 「外部専門機関と連携した英語力向上事業」 H28～H29

- 研究指定校3校
鹿屋高等学校・第一鹿屋中学校
野里小学校
- 研究内容
小中高等学校の連携の在り方
Can-Doリストの作成
授業実践事例映像の活用 等



Can-Doリストに基づく対話活動

Let's Enjoy English!

英語の楽しさを、あなたに「楽しく英語を」または「だいたい楽しく英語を」を習得するために
心がけてください。

項目	No.	内容	高校	中学校	小学校	注
基礎	1	私は英語が好きです。				
	2	私は英語に自信があります。				
	3	私は英語を聞くことが好きです。				
	4	私は英語を話すことが好きです。				
発展	5	私は英語を聞くことが好きです。				
	6	私は英語を話すことが好きです。				
	7	私はインターネットを通じて英語を学びたいです。				
	8	私はインターネットを通じて英語を教えることが好きです。				
高度	9	私はインターネットを通じて英語を学びたいです。				
	10	私はインターネットを通じて英語を教えることが好きです。				
	11	私はインターネットを通じて英語を学びたいです。				
	12	私はインターネットを通じて英語を教えることが好きです。				
その他	13	授業生活の身近な英語学習活動に就いては、				
	14	授業生活の身近な英語学習活動に就いては、				

Can-Doリスト



○授業実践事例映像資料
(文科省作成)
学習指導要領に沿って行われている授業を録画・編集し、解説を加えて全国の学校に配布。これまでに小学校3種、中学校2種、高等学校3種を配布。

(5) 英語教育フォーラム

講演 金城 太一 氏
文部科学省国際理解教育室長



県内 小・中・高・大学教員、
市民等 約300名参加



シンポジウム



(6) イングリッシュチャレンジ

～外部試験を活用した英語力の向上～

英検受験料補助

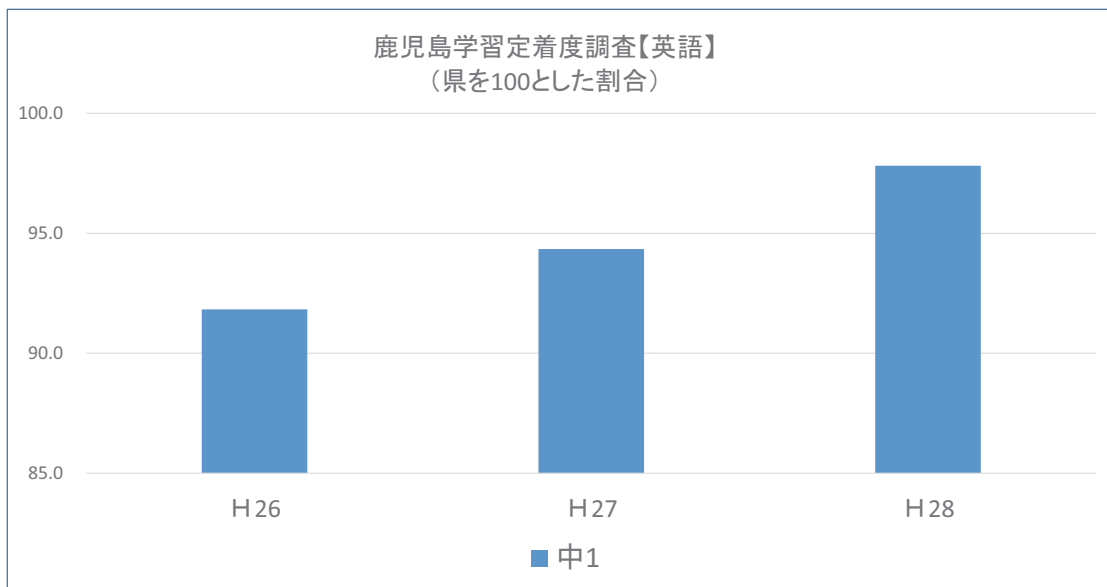
- ・ 対象者：鹿屋市内の中学校に在籍している全ての生徒
- ・ 対象級：英検4級以上
- ・ 補助額：受験料の1/2（年1回）

英語能力判定テスト（I B A）

- ・ 対象者：鹿屋市内の中学校に在籍している全ての生徒
- ・ 実施時期：中学1・2年生（11月）中学3年生（7月）
- ・ 生徒負担：無償実施

3 鹿児島学習定着度調査等からみる実態

(1) 鹿児島学習定着度調査【1月実施 対象: 中学1年生】



3 英語検定等からみる実態 【文科省:毎年12月1日現在 対象:中学3年生】

(2) 英語実施状況調査

① 英検3級以上を取得している生徒の割合

	国	県	市
平成26年度	18.4%	非公表	17.2%
平成27年度	18.9%	非公表	12.3%
平成28年度	18.1%	18.2%	17.6%

※ 平成28年度末 本市中学3年生の3級以上の取得者の割合・・・**31.5%**

② 英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合

※ 英検3級程度以上とは、客観的調査(IBA)や担当教諭が判断

	国	県	市
平成28年度	36.1%(12月)	32.7%(12月)	36.7%(6月)

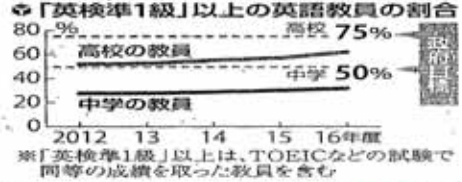
※平成27年度 本市はIBAを2月に実施し、結果は46%

3 英語検定等からみる実態 【政府 閣議決定】

新聞情報【4月6日(木)】読売新聞

中高英語力 基準到達36%

文科省調査 政府目標50%厳しく



※「英検準1級」以上は、TOEICなどの試験で同等の成績を取った教員を含む

文部科学省は5日、全国の公立の中高生を対象にした2016年度「英語教育実施状況調査」の結果を公表した。政府が17年度までに目指す英語力のレベルに達した中学3年生は全体の36・1%（前年度比0・5%減）、高校3年生は36・4%（同2・1%増）だった。政府目標は50%で、達成は厳しい状況だ。

（関連記事16面）

教員の英語力についても調査し、政府目標に達した英語教員は、中学校が32・0%（同1・8%増）、高校62・2%（同4・9%増）にとどまった。

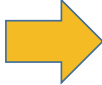
政府は、グローバル化に対応するため英語教育の充実を掲げ、13年6月の閣議決定で、中学卒業段階で「実用英語技能検定（英検）3級程度」以上、高校卒業段階で「英検準2級程度」以上の英語力を持つ生徒の割合を17年度までに50%にする目標を掲げた。

英語教員についても、英検準1級やTOEICなどの試験で同等の成績を取った割合を同年度までに中学で50%、高校で75%にするとした。文科省は閣議決定の前年の12年度から、毎年、状況調査を行っている。15

4 今後に向けて

(1) 「かのや英語大好き事業」の充実

① 移行期間(平成30～31年)における鹿屋市内と全国の小学校の授業時数 単位;時間

	平成29年度 ()内は研究指定校	平成29年度 全国		市内	全国
1・2年生	10 (20)	0		20	0
3・4年生	20 (35)	0		35	15～35
5・6年生	35 (70)	35		70	50～70

② 新学習指導要領を基盤とした授業への研修

(英語教育圏及び小中連携による共同研究)

- ・低学年における外国語活動、高学年における外国語科の授業
- ・小中一貫した英語教育の授業
- ・大学入試制度改革を見据えた授業 等

4 今後に向けて

(2) イングリッシュキャンプの充実・拡充

- 実施回数の増加
 - ・ 5回実施予定
- 参加対象者の拡充
 - ・ 小・中学生 + 高校生・保護者 等
- 活動内容の充実
 - ※ 関係機関との連携
 - ・ 地域活力推進課(鹿屋市国際交流協会)
 - ・ 鹿児島県アジア太平洋農村研修センター
 - ・ 神野地区町内会

(3) イングリッシュチャレンジの継続

- ・ 英語力向上に向けた取組と、チャレンジする生徒への支援

国際交流員（CIR）による取組みについて

I 国際交流員（CIR）とは

II 国際交流員（CIR）の主な活動について

①出前講座

②イングリッシュカフェ

③Wow！かのや

I 国際交流員（CIR）とは

- 国際交流員（CIR）とは、Coordinator for International Relationsの頭文字から取られたもので、地方公共団体の行政部門に配置され、国際交流を促進するための活動に従事する方を言います。
- 地域等における国際交流活動をメインにしているため、高い日本語能力を有しています。

国際交流員（CIR）の主な業務内容

- ・ 外国人の表敬訪問時の通訳
- ・ 観光パンフレットや市ホームページなどの翻訳
- ・ 在住外国人の生活支援
- ・ 小中学校等を対象にした出前講座
- ・ 市民が英語に触れられる機会・場の提供 など



Ⅱ 国際交流員（CIR）の主な活動について

① 出前講座

子どもたちに、歴史・文化・ゲームなどを通して、
楽しく異文化に触れてもらうことを目的に実施しています。

- 1 対象
保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高校
- 2 希望派遣調査方法
毎年度 5月に、それぞれの団体へ派遣調査票を送付
派遣を希望する学校から申請書を提出してもらう
- 3 内容
アメリカの文化の紹介、アメリカのゲーム遊びなどの文化を紹介 ※年代に合わせて、内容変更している。

【保育園や小学校等での出前講座実績】 ※H29年度は9月末現在

項目	H29	H28	H27
実施回数	9	14	19
人数	431	846	1319



保育園での出前講座



市内高校での文化紹介



アメリカの歴史を紹介

Ⅱ 国際交流員（CIR）の主な活動について

② イングリッシュカフェ

1 イングリッシュカフェ ※ 今年度から開催

- ① 開催日 月2回 第2・第4火曜日
19:00～20:30
- ② 場 所 リナシティかのや
- ③ 参加資格 中学生以上であればだれでも参加可能
- ④ 参加料 1回 200円必要
- ⑤ 内 容 毎回、国際交流員がゲーム形式のテキストを準備。
分からないことがあれば、気軽に聞ける雰囲気です。

【その他】※ 中央公民館主催の市民講座で講師を務める。

- ① 日 時 毎月第2水曜日 10:00～12:00
- ② 参加人数 毎回 20人程度参加

【イングリッシュカフェの実績】

※10月20日現在

項目	参加者内訳(人)					計
	中・高校生	大人内訳				
		日本人	英語圏	英語圏以外		
対象者		20～49歳	50歳以上			
合計	11	85	49	33	9	176
平均	1	7	4	3	1	16



カフェの様子

Ⅱ 国際交流員（CIR）の主な活動について

③Wow!かのや

「Wow!かのや」とは？

今年度から本格的に活動したもので、外国人と市民が気軽に交流する場の提供を目的に、イベントを開催したり、既存のイベントに参加しています。

大きな特徴としては、県内のALTや在住外国人など多くの外国人が参加しています。

今年度は、

- 4月 花見（串良平和公園）
- 5月 ホタル観賞（輝北町平房）
- 7月 マリンフェスタ（高須海岸）
- 8月 夏祭り総踊りへの参加



花見



マリンフェスタ



輝北 ホタル観賞